

ハクビシンの特徴と対策

編集：京都府農林水産技術センター農林センター
発行：平成23年(2011年)3月



歩行跡
直線の左
右につく



原産地： 南方系の動物（もともと日本にはいなかったと考えられているが、明治以前から存在が確認されている。）
出 産： 決まった繁殖期は無く、一年を通して繁殖が可能（1年に複数回出産するわけではない）
行 動： 水路や側溝等、水際周辺を通路にすることが多い。
夜行性
垂直方向へジャンプした場合、115cm程度まで前足が届く。
1mm以下の針金の上を歩くことができる。（思わぬ所から侵入する）
垂直に垂らした針金も登ることができる。
足がひっかかるものなら何でも登る（角から登ることが多い）。
食べ物： 雑食性（果樹、野菜、昆虫、水生生物、鳥類 など）
被 害： 農畜水産物被害（果樹、野菜類、養鶏、養魚 など）
生活環境被害（家屋侵入・損傷、寺社・仏閣侵入・損傷）

◆見分けるポイント（生息していることを前提に、早期発見、早期対策）

- ◆寺社、空き屋を定期的に見回り、痕跡（侵入痕跡、足跡、糞）の有無を確認
- ◆水路付近で痕跡（足跡等）の有無を確認
- ◆農作物の被害痕跡、侵入痕跡を確認

	ヒゲ	眉間	尾	足跡
アライグマ	白い	黒い線	縞模様で長い	長い指跡 5本 爪跡も残る 
ハクビシン	白い	白い線	黒く細長い	指跡 5本 
アナグマ	白い	淡く白い線	太く短い	指跡 5本 爪跡が長い 
タヌキ	黒い	なし	太く短い	指跡 4本 爪跡は短い 



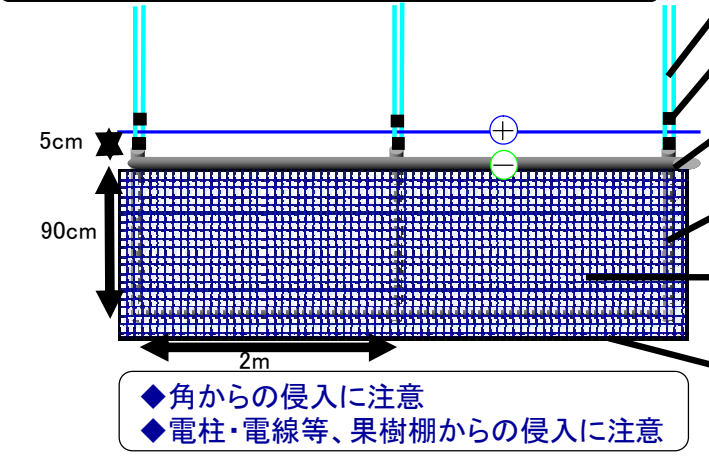
◆ハクビシンを寄せない集落環境管理

- 集落**
- ◆**家庭ゴミ**
→ 決められた日・時間に出し、長時間放置しない
 - ◆**生ゴミ**
→ コンポストに入れる、埋設、焼却
 - ◆**庭先、農地周辺の柿**
→ 低樹高に仕立てなおして、網をかぶせる
利用しない場合は、早期摘果、伐採
 - ◆**墓地のお供え物、供花**
→ その場で食べる、持ち帰る

◆ハクビシンを寄せない農地管理

- 農地**
- ◆**作物を食べさせない**
→ 防除柵でしっかりと防除する
 - ◆**収穫予定の無い果樹や栗**
→ 早期摘果、伐採できる場合は伐採
 - ◆**廃棄した作物や果樹**
→ 防除柵内に廃棄、すき込み、埋設、焼却

◆ハクビシン対策の防除柵



- ダンポール(2本)
- 電気柵の柵線 (ビニルテープで固定)
- 横の単管パイプは、支柱の外側に固定
- 骨格:単管パイプ (ハウスの廃材 など)
- 防風ネット(4mm目以下)や、亀甲金網(格子3cm以下)
- 15cm程度地面に埋め込む (タヌキ、アナグマがいる地域は、30cm程度埋め込む)

◆捕獲についての注意

野生鳥獣は、許可無く捕獲することは法律で禁止されています(狩猟期間中の狩猟者を除く)。被害が発生した場合等は、お住まいの市町村にご相談下さい。

特に、アライグマとハクビシンでは、捕獲許可方法、捕獲後の処理方法が異なる場合があります。錯誤捕獲を防止するため、痕跡をしっかりと観察し、お住まいの市町村にご相談下さい。